

資料4. 石川県の現状と課題

- ・現行長期構想の全体像
- ・石川県の特徴、強み
- ・想定される課題

石川県長期構想（H28.3策定）の全体像

《時代認識》

《基本目標》 《目指すべき将来像》

《重点戦略》

「地球時代」

- 1 地球環境問題の深刻化、顕在化
- 2 社会・経済活動のボーダレス化、国際化の発展
- 3 広域的な交通ネットワークの整備・活用
- 4 情報通信技術の急速な進化

県外・国外を
視野に入れた
さらなる
発信・展開

「成熟時代」

- 1 人口減少を克服し、東京一極集中から脱却する社会構造の構築
- 2 多様な価値観を持つ個人が共存・参画する社会の到来
- 3 大規模災害やインフラ老朽化対応

人口減少対策
の重要性

「地方創生時代」

- 1 地方創生の幕開け
- 2 文化の継承・発展
- 3 多様な主体による連携と協働
- 4 持続可能な財政基盤の確立

安全・安心の
さらなる希求

個性、交流、安心のふるさとづくり

I 魅力を磨き
人・ものを惹きつける
「いしかわ」

II 成長を実感でき
働く人が輝く
「いしかわ」

III 安全・安心と
やすらぎを感じる
「いしかわ」

① 魅力が輝き交流が
盛んな地域づくり

② 個性と魅力にあふれる
文化と学術の地域づくり

③ 人を惹きつける
生涯居住の地域づくり

④ 地域の強みを活かし
成長する産業づくり

⑤ 成長する農林水産業と
農山漁村づくり

⑥ 安全・安心と豊かな里山
里海に包まれる環境づくり

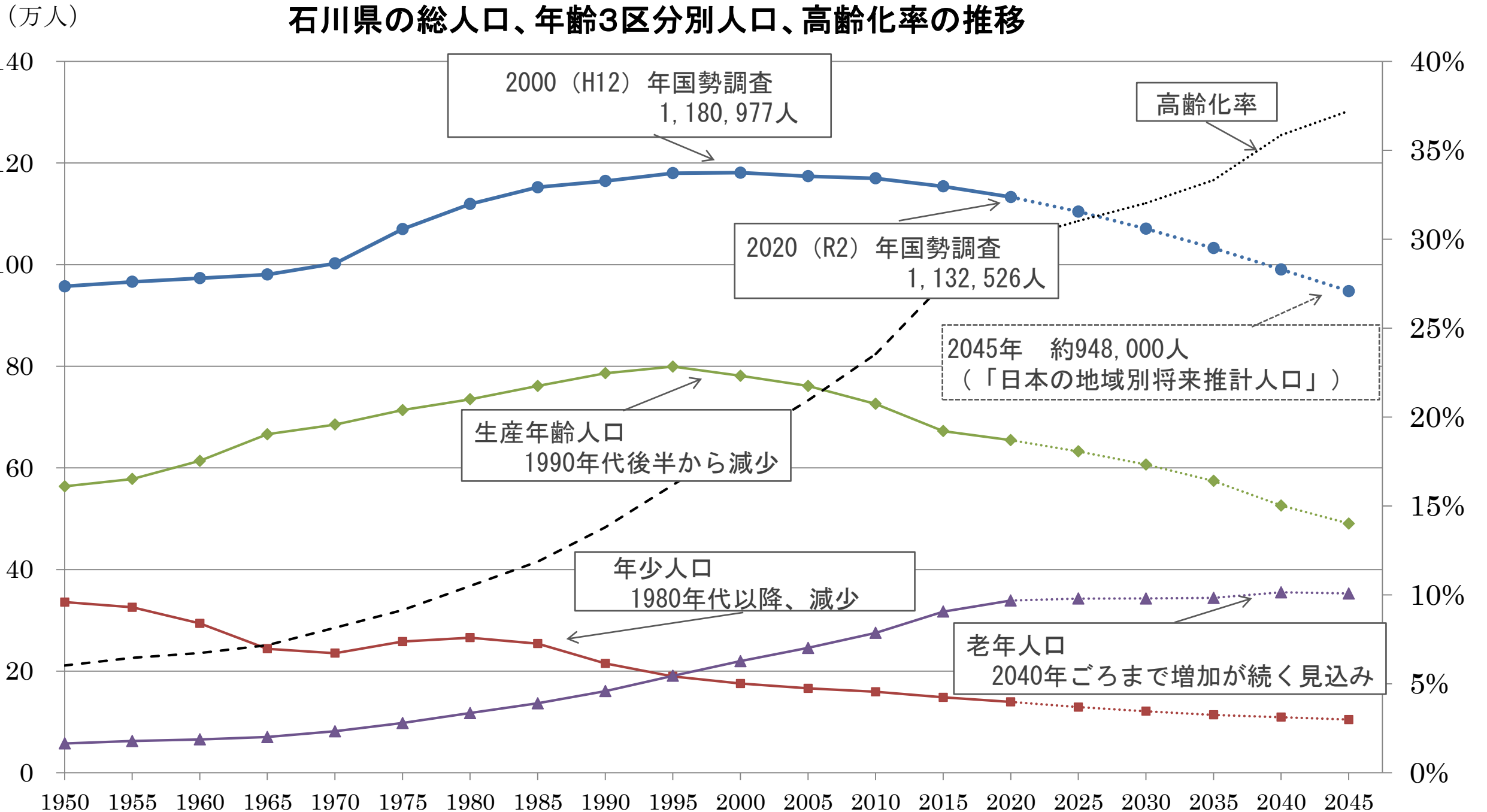
⑦ 少子高齢化を見据えた
希望と安心の社会づくり

⑧ みんなで支えるやすらぎと
絆の社会づくり

⑨ 未来を拓く
心豊かな人づくり

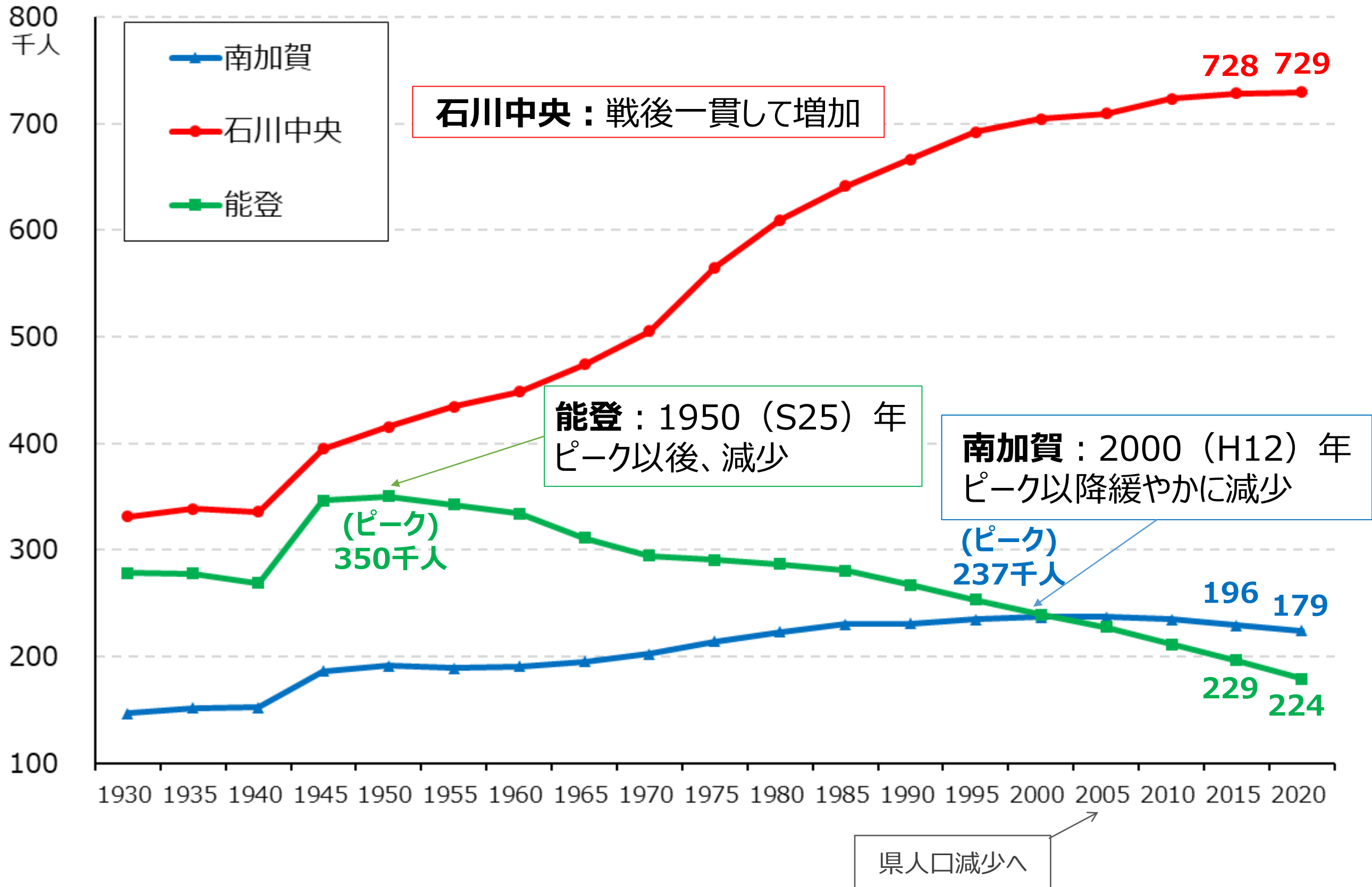
石川県の人口の推移

- 石川県の総人口は、2005（H17）年国勢調査で初めて減少となって以降、減少が続く
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045年の人口は約94万8千人となる



(出典)総務省「国勢調査」(R2)、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(H30推計)

石川県の人口の推移(地域別)



石川県の主な指標

■ 製造品出荷額等（従業員4人以上の事業所）

産業部門	事業所数		従業者数(人)		製造品出荷額等(億円)	
	R2	構成比(%)	R2	構成比(%)	R元	構成比(%)
合計	2,748	100.0	103,466	100.0	30,059	100.0
繊維	437	15.9	10,179	9.8	1,929	6.4
機械	1,168	42.5	60,423	58.4	20,766	69.1
食料品	403	14.7	13,173	12.7	2,003	6.7
窯業・土石	155	5.6	2,884	2.8	737	2.5
木材・木製品	61	2.2	1,022	1.0	246	0.8
その他	524	19.1	15,785	15.3	4,378	14.6

■ 農業産出額（億円）（生産農業所得統計）

年度	合計	米	野菜	果実	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	花き	その他
H27	500	253	96	27	10	29	18	34	7	26
R2	535	281	101	34	13	24	15	35	6	26
(全国)	89,557	16,551	22,520	8,741	6,863	9,310	6,596	8,724	3,080	6,387

■ 漁獲量の推移（t）（海面漁業生産統計調査）

H27	H28	H29	H30	R1	R2
66,362	58,689	37,473	62,071	39,793	53,224

(参考) 石川県の主な指標

項目	単位	石川県	全国 順位 (位)	全国	時点
面積	km ²	4,186.20	35	377,974.63	R3.10.1
年間降水量 (3カ年平均)	mm	2,412	8	1,790	R元~3
就業率	%	59.5	5	57.5	H27.10.1
昼夜間人口比率 (昼間人口/常住人口)	%	100.22	8	—	H27.10.1
県民所得 (1人当たり・法人企業所得を含む)	千円	3,023	19	3,317	H30年度
女性就業率	%	53.9	3	51.7	R2.10.1
高齢者就業率	%	27.8	12	26.7	R2年度
県内就職率 (高等学校卒業者)	%	90.3	7	81.9	R3.5.1
都市公園面積 (1人当たり)	m ²	15.05	15	10.58	R元年度
汚水処理人口普及率	%	94.7	12	92.1	R3.3.31
道路整備率 (一般道路)	%	73.3	3	60.1	R2.3.31
児童福祉施設定員数 (年少人口千人当たり)	人	290.7	8	204.0	R2.10.1
老人福祉関係施設数 (老年人口10万人当たり)	施設	96.1	27	98.1	R2.10.1
国宝・重要文化財指定件数 (100万人当たり)	件	118.3	12	105.8	R4.1.1

石川県の特徴、強み

■ 石川県の地理・交通特性

- ・国土の中央に位置し、三大都市圏との時間距離が近い
(鉄道: 2.5h、東京は飛行機で1h)
- ・2015.3北陸新幹線金沢開業、
2024年春金沢・敦賀間が開業予定
- ・南北に長い地理に合わせ、道路ネットワークを整備
(のと里山海道、北陸自動車道など)
- ・2つの空港 (小松空港、のと里山空港)
2つの重要港湾 (金沢港、七尾港)



のと里山空港



金沢港



■ 豊かな自然環境

- ・世界農業遺産「能登の里山里海」・日本三名山の霊峰白山など
- ・県土の約6割を占める里山や三方を囲む里海が身近な自然として存在
- ・生物多様性が保全されており、トキの放鳥候補地にも選定



白山



能登の里山里海(白米千枚田)



トキの飼育(いしかわ動物園)



石川県の特徴、強み

■ 規模は小さくとも特定分野で世界に誇る企業の集積

- ・機械、繊維をはじめとする製造業が集積
- ・機械、金属分野を中心にニッチトップ企業が集積（ニッチトップ企業数93社）
- ・新規事業等に意欲的な企業が多数存在

（ いしかわ次世代産業創造ファンド 採択実績 321件（H22～R4）
いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド 採択実績1,265件（H20～R4） ）

<いしかわ次世代
産業創造ファンド採択例>

○炭素繊維



炭素繊維を用いた耐震補強材
(善光寺等の文化財補修に活用)



建設機械の生産ライン



回転寿司コンベア機械でシェア世界一

■ 高等教育機関の集積

- ・人口あたりの大学等の数が全国1位（R3）
- ・先端科学技術大学院大学が立地（全国で3県）



北陸先端科学技術大学院大学

石川県の特徴、強み

■ 特色ある農林水産物

- ・ルビーロマン、能登牛など、量は多くないものの、優れた特長を有する農林水産物が豊富
- ・全国初となるブランド化推進条例を制定（R2.3）し、県産ブランド「百万石の極み」として20品目を認定

<県産ブランド「百万石の極み」20品目>

※50音順



百万石の極み



エアリーフローラ



加賀しずく



加賀太きゅうり



加賀丸いも



加賀れんこん



加能ガニ



源助だいこん



香箱ガニ



五郎島金時



高松紋平柿



能登牛



能登志賀ころ柿



能登大納言小豆



のとてまり



能登とり貝



ひやくまん穀



百万石乃白



ルビーロマン



輪島海女採りあわび



輪島海女採りさざえ

石川県の特徴、強み

■ 豊富で質の高い観光資源

- ・加賀百万石時代から培われた風土（街並み、伝統工芸・芸能、食文化など）
- ・世界農業遺産「能登の里山里海」・日本三霊山の白山など
- ・日本遺産「能登のキリコ祭り」、「小松の石文化」、「北前船寄港地・船主集落」
- ・いしかわ里山里海サイクリングルート
能登から加賀までの観光地や豊かな景観を巡る全7ルートを設定



兼六園



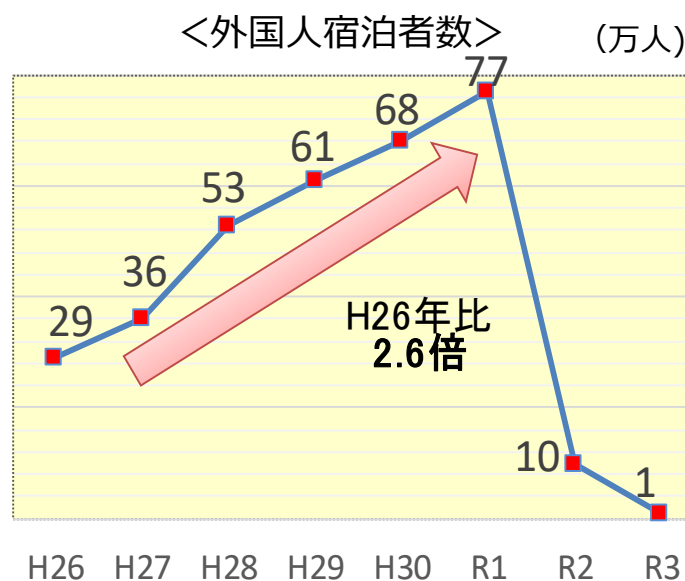
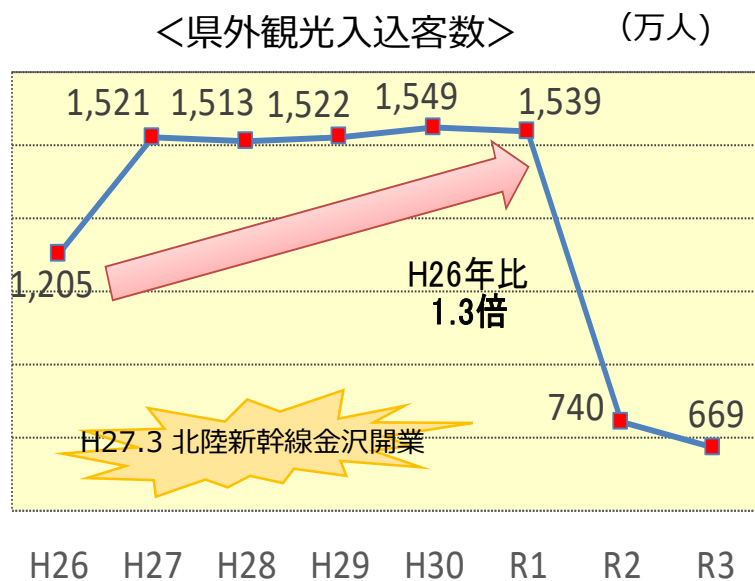
能登のキリコ祭り



小松の石文化（石切り場）



北前船寄港地・
船主集落（橋立）



いしかわ里山里海サイクリングルート

石川県の特徴、強み

■ 歴史と伝統に育まれた質の高い文化の集積

- ・日本海側で唯一の国立美術館「国立工芸館」の移転・開館
- ・県内文化団体の活動を支援する全国最大規模の「いしかわ県民文化振興基金」(120億)
- ・人口当たり日本伝統工芸展入選者数 全国1位 (R3)
- ・人間国宝(工芸技術の部)数 全国1位 (R4)



国立工芸館

<金沢城、兼六園などの文化施設>

<輪島塗、山中漆器、加賀友禅、九谷焼、金沢箔等の伝統工芸>



金沢城公園 (菱櫓・五十間長屋)



輪島塗



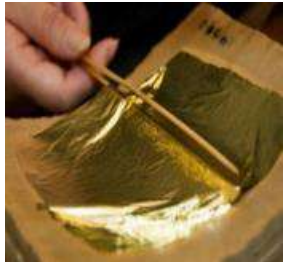
山中漆器



加賀友禅



九谷焼



金沢箔

<能楽、金沢芸妓などの伝統芸能>

<治部煮などの伝統料理や地酒などの食文化>



金沢芸妓



加賀会席



治部煮



地酒

石川県の特徴、強み

■暮らしやすさ、住みやすさの満足度の高さ

- ・県内6市(野々市、白山、金沢、かほく、小松、能美)が住みよさランキング全国トップクラス

野々市市：3位、白山市：5位、金沢市：6位
かほく市：27位、小松市：29位、能美市：37位
※東洋経済新報社「住みよさランキング2022」



■高い教育水準

- ・全国学力・学習状況調査において、全ての科目で全国トップクラス (R4)

小学6年 国語：2位 算数：1位 理科：2位
中学3年 国語：1位 数学：1位 理科：1位

各教科の平均正答率上位
(公立学校) (%)

小学6年					
	国語		算数		理科
秋田	71	石川	69	秋田	71
石川	70	東京、福井	67	石川	70
東京、福井	69	富山、秋田、高知	66	福井	69
全国	65.6	全国	63.2	全国	63.3

中学3年					
	国語		数学		理科
石川、秋田	73	石川	58	石川	55
福井	72	福井	56	福井	53
徳島	71	富山、徳島、香川	55	富山、秋田など	52
全国	69.0	全国	51.4	全国	49.3

■働きながら子育てしやすい環境

- ・待機児童数ゼロ
- ・人口当たり延長保育実施保育所等数：73.6施設(全国10位)
※厚生労働省「社会福祉施設等調査」
- ・女性就業率：53.9%(全国3位) ※全国平均51.7%
※総務省「国勢調査」(R2)

石川県の特徴、強み

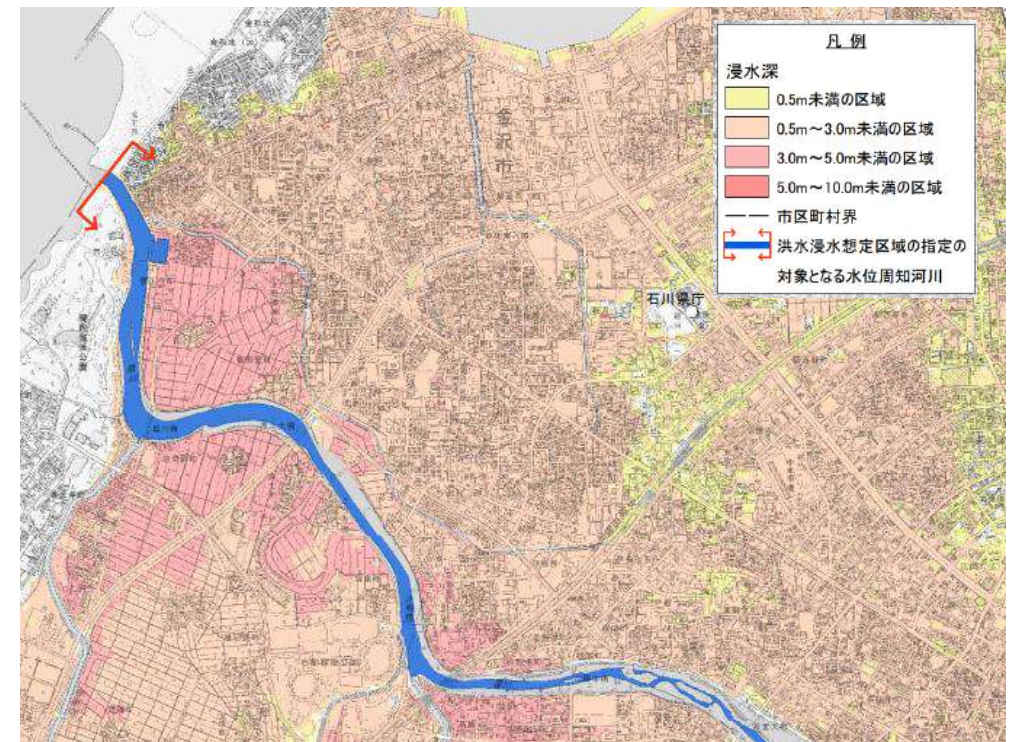
■ハード・ソフト両面からの災害への備え

- ・「自助」「共助」の要である、人口当たりの防災士の割合 全国4位 (R3)
人口当たりの女性防災士の割合 全国4位 (R3)
- ・治水対策・土砂災害対策の推進
(河川改修、堆積土砂除去、要配慮者利用施設背後の土石流対策など)
- ・災害時の緊急輸送道路の機能強化 (落橋防止対策完了済)
- ・洪水浸水想定区域図の作成(県内の水位周知28河川作成済)

〔 小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成について、法律による義務化に先駆けて、着手しており、来年春頃に公表予定 〕



河川の防災対策
(堆積土砂除去)



浸水想定区域図の作成
(犀川)

想定される課題 (県政全般)

■ 進行する人口減少への対応

- ・本県の人口は、日本海側で戦後唯一増加していたものの、2005年以降減少に転じている

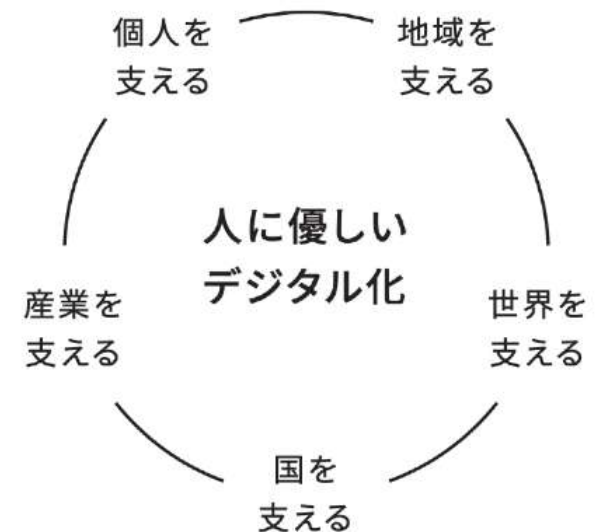
国勢調査	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
日本の 総人口	1億2,693 万人	1億2,777 万人	1億2,806 万人	1億2,709 万人	1億2,615 万人
石川県の 総人口	118.1 万人	117.4 万人	117.0 万人	115.4 万人	113.3 万人

国と石川県の人口の推移(国勢調査(R2))

■ あらゆる分野におけるデジタル化への取り組み

- ・国：デジタル庁創設(R3.9)
県：デジタル推進課の設置(R3.4)
デジタル化推進計画策定(R4.1)
- ・産業、生活のデジタル化
(デジタル技術を活用した企業の生産性向上や防災対策、
移住・定住促進など)
- ・行政サービスの利便性向上
(行政手続きのオンライン化、キャッシュレス化など)
- ・行政事務の効率化 (ペーパーレス・ウェブ会議など)

デジタルにより目指す社会

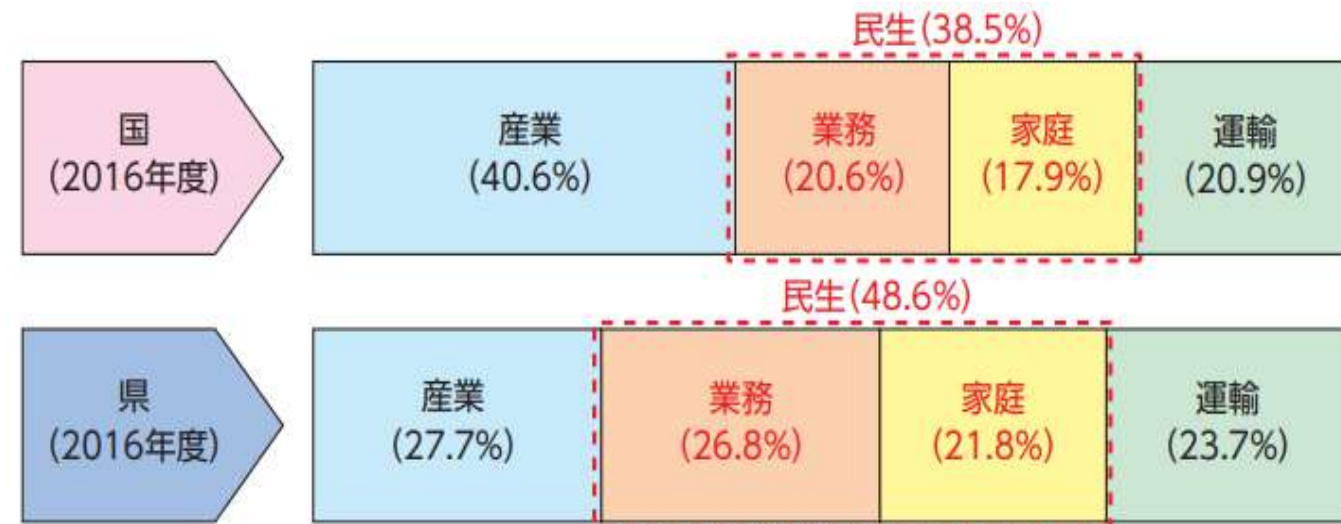


出典：デジタル社会の実現に向けた
重点計画HP(デジタル庁)

想定される課題 (県政全般)

■カーボンニュートラルへの取り組み

- ・国は2030年度に温室効果ガスを46%削減
2050年に全体としてゼロとすることを表明
- ・本県は全国に比べて、家庭などの民生部門
や運輸部門における温室効果ガスの排出
割合が高い
- ・本年を「いしかわカーボンニュートラル推進元年」と
位置づけ。現在、2050年までのカーボンニュート
ラル実現に向け、環境総合計画の改定作業中



温室効果ガスの排出割合(国と県の比較)

■ウィズコロナ・アフターコロナの対応

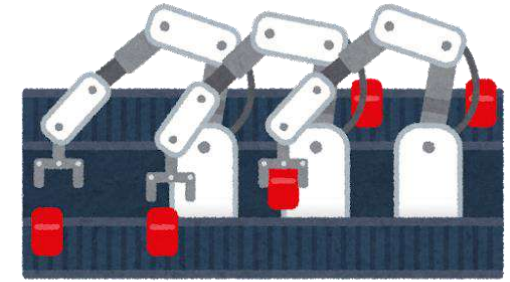
- ・感染防止対策と社会経済活動の両立
- ・県は、医療提供体制の確保、感染拡大防止、
事業者への経済支援を行うとともに、県民旅行
割など観光の需要喚起の取り組み
- ・今後、職場、学校、医療や交通などあらゆる
シーンにおいて、感染予防技術の普及が進み、
新技術を用いた新たなスタイルへ変化



想定される課題 (強い産業づくり部会)

■ 産業のデジタル化

- ・デジタルを活用した生産性の向上
- ・デジタル化を担う高度人材の育成



(デジタル化の例)
ロボット化による生産性の向上

■ カーボンニュートラルへの取り組み

- ・カーボンニュートラル産業など新たな次世代産業の育成



炭素繊維と研究開発拠点ICC
(革新複合材料研究開発センター)

■ 環境変化に対応した産業の持続的な発展に向けた取り組み

- ・新製品開発による新規需要の創出
- ・国際展開の拡大
- ・ニッチトップ企業の集積や豊富な地域資源など地域の強みの活用
- ・戦略的企業誘致
- ・地場産業の経営安定化と基盤強化
- ・産業人材の総合的な確保・育成
- ・イノベーションを生み出すスタートアップの創出



アンテナショップ
(シンガポール高島屋)



いしかわ就職フェア

■ 自然環境の荒廃への対応

- ・里山里海の保全と生業づくり、魅力発信
- ・鳥獣被害対策の推進、野生鳥獣とのすみ分け
- ・トキをシンボルとした自然環境の保全・再生



トキの餌場の整備など

■ 農林水産業の持続的な発展

- ・農林水産業の収益性の向上（ブランド化、スマート農林水産業等）
- ・多様な担い手の確保・育成
- ・環境保全型農業の推進
- ・県産材の生産と利用の拡大による森林資源の循環利用の促進
- ・水産資源の適切な管理と漁場環境の保全



環境保全型農業の推進
(堆肥の散布)



スマート林業



トリガイの養殖

想定される課題 (個性豊かな地域づくり部会)

■ 北陸新幹線県内全線開業効果の最大化と開業効果の持続、県内全域への波及

- ・コロナ禍で疲弊する観光産業の持続・回復
- ・2024年春の県内全線開業に向けた、受け地の魅力づくり、効果的な情報発信、誘客キャンペーンの展開(文化資源をさらに磨き上げて観光誘客につなげる文化観光の推進、北陸三県連携の強化)
- ・広域交流のための基盤整備と活用



北陸新幹線

■ 本県の優れた文化の継承と発展

- ・いしかわ百万石文化祭2023を契機とした、石川の文化の継承とさらなる磨き上げ
- ・県民の自主的・主体的な文化活動の促進



能楽

■ 国際化への対応

- ・インバウンドの本格的な再開を見据えた受け地の魅力づくりと誘客推進
- ・オンラインも活用した国際交流の推進

いしかわ
百万石
文化祭
2023



■ ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

- ・競技力の向上及び生涯にわたるスポーツ活動の振興
- ・スポーツを通じた地域活性化

想定される課題 (温もりのある社会・人づくり部会)

■ 医療従事者の確保・医療提供体制の充実

- ・医療従事者や診療科の地域偏在解消
- ・大学・病院間の連携による質の高い医療提供体制の確保

■ 少子化への対応

- ・結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援
- ・仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進

■ 高齢化への対応

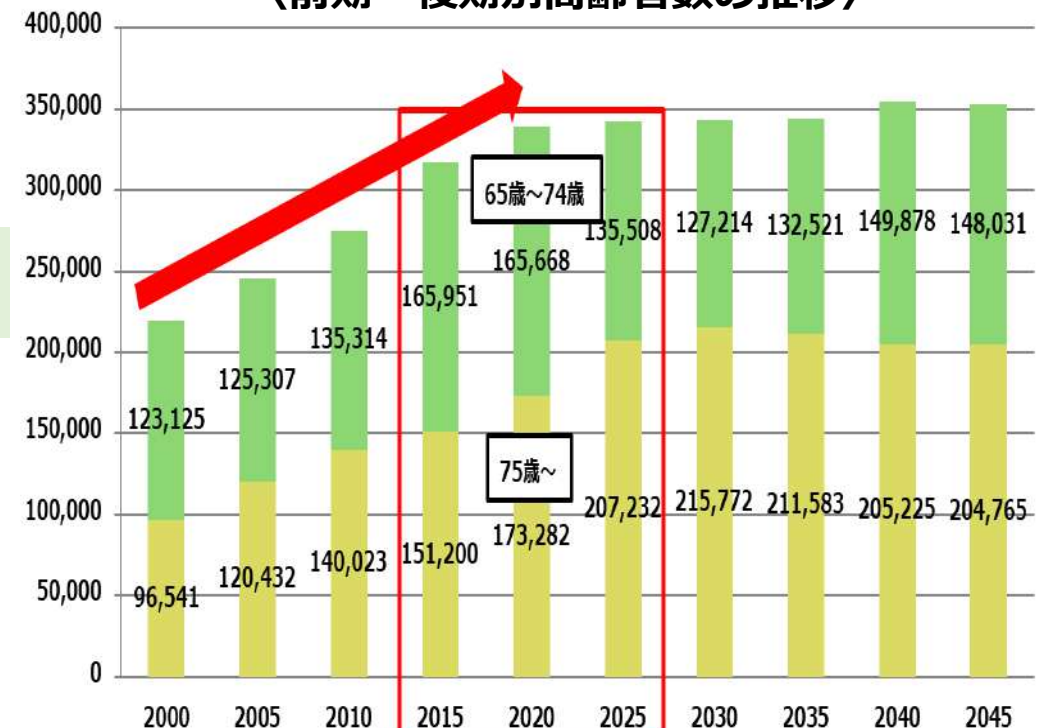
- ・団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けた、介護・福祉人材の確保や質の向上
- ・生活習慣の改善、介護予防など健康の保持・増進

〈医師少数区域・医師多数区域〉

	医師偏在指標	全国順位	区分
全国	239.8	—	—
石川県	272.2	7位/47	医師多数県
南加賀	180.8	157位/335	
石川中央	328.0	22位/335	医師多数区域
能登中部	190.6	128位/335	
能登北部	134.7	300位/335	医師少数区域

石川県医師確保計画（R2.3）

〈前期・後期別高齢者数の推移〉



(総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(H30.3)より石川県分を抜粋)

想定される課題 (温もりのある社会・人づくり部会)

■ 未来を拓く心豊かな人づくりの推進

- ・ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成
- ・確かな学力の育成、GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上
- ・特別支援教育の充実
- ・いじめ・不登校等への取組の充実
- ・教員の確保・資質向上、教職員の多忙化改善の推進



教員を目指す学生等を指南する「いしかわ師範塾」

■ 人権尊重の推進

- ・あらゆる立場の方の人権を守るための教育・啓発活動の推進

〔 女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、感染症患者、
犯罪被害者、部落差別、性的少数者など 〕

■ 女性活躍の推進

- ・企業における女性活躍の推進
- ・あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進
- ・女性管理職の登用促進

〔 女性就業率 53.9% (R2 全国3位)
女性管理職率 14.3% (R2 全国38位) 〕

時間外勤務が月80時間を超える教職員の割合

	H29	R1	R3
<小学校>	10.4%	→ 5.8%	→ 3.0%
<中学校>	36.2%	→ 25.7%	→ 14.4%
<高等学校>	13.8%	→ 5.9%	→ 2.9%

(全日制)

想定される課題 (安全・安心な地域づくり部会)

■ 激甚化・頻発化する自然災害への対応

- ・防災・減災対策の充実強化と災害に強い県土づくり
(8月4日からの大雨による被害 (R4)、能登地方を震源とする地震 (R3~)、記録的な寒波・大雪 (H30、R2))
- ・「自助」「共助」による地域防災のより一層の向上



R4.8.4から的大雨による小松市中海町の浸水



R4 能登地方の地震による道路法面の被災

■ 治安対策の推進

- ・高齢者に対する犯罪被害防止や交通事故対策等の強化
(特殊詐欺認知件数(R3) : 30件
高齢者の事故数 (R3) : 706件)
- ・サイバー空間の脅威に対する的確な対処

■ 交流基盤の整備

- ・地域公共交通の維持・確保
- ・橋梁やトンネルなど公共施設の長寿命化
(橋梁 : 2,312か所、トンネル : 89施設 など)